

① ビットコイン続落

- ⇒ バブルの象徴であるビットコインの価格が 320 万円台と、三角持合いを下落方向に完全にブレイクしました
- ⇒ 前回の高値 233 万円、安値 35 万円
- ⇒ $(233 \text{ 万円} - 53 \text{ 万円}) + 233 \text{ 万円} = 431 \text{ 万円}$
- ⇒ 今回の高値は「倍返し」の 428.5 万円で終了したものとされます
- ⇒ ビットコインは株価等他のリスク性資産の「先行指標」ですので、今後1ヶ月ほどのタイムラグを経て、バブル状態にある各資産が崩れていくのではないかとされます
- ⇒ 最大限の用心をしていただければと思います

【ビットコイン:日足】



② ポンド

⇒ 対円で 142 円台、対ドルで 1.37 台と高値を更新

⇒ 対円で 142.33 円を突破すると 150 円に向けて大きく動き出すと思います

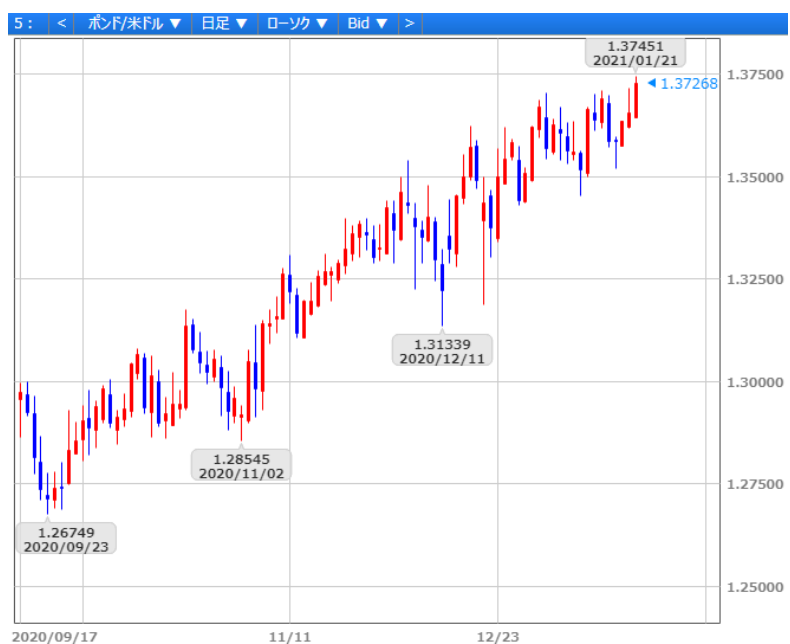
⇒ 先日もお伝えしましたように、「今まで保有していない・売り建てていた」投資家が、ポンドを持たざるを得ない状況に変化したのは明白です

⇒ ぜひ、外貨建て資産における分散化を計っていただければと思います

【ポンド/円:日足】



【ポンド/米ドル:日足】



③ 米 10 年国債利回り

- ⇒ 1.108%と横ばい
- ⇒ 移動平均線が明確なゴールデンクロスとなっています
- ⇒ 中期的に利回りが上昇する局面です
- ⇒ 米国の国債・社債は、40 年間の金利低下局面が終わったと思います
- ⇒ 米ドルも下落トレンドであり、債券価格も下落トレンドに転換したのであれば、米国の債券を保有する意味は皆無です

【米 10 年国債利回り:3 年】



④ 米国株式

- ⇒ バンク・オブ・アメリカは米法人税率が21%⇒28%に上がれば、主要企業の利益が平均9%減少すると試算
- ⇒ ペンシルベニア大はバイデン政権が見込む10年で4000億ドル(約41兆円)の税収増のうち、75%をハイテク企業が負担することになると推計する
- ⇒ 私は、自分がバブルだと判断するリスク性資産を、個人投資家の方々に推奨することは絶対にできません
- ⇒ 高値掴みをして大変な状況に陥った方々を、証券会社時代も含めて山のように見てきたからです
- ⇒ NASDAQは明らかに割高だと思います
- ⇒ 50ヶ月移動平均線の8000ポイントに向かうと思います

【NASDAQ:10年】



⑤ 金ETF(1540)

- ⇒ 残念ながら、金ETF(1540)と現物の乖離が拡大しています
- ⇒ 3年間で約10%というのは見過ごすことができない差です
- ⇒ 個人投資家が勝つためには、コストを限りなくゼロにする必要があります
- ⇒ しっかりと金の現物にも分散化することをお勧めいたします
- ⇒ 何度も動画で申し上げましたが、私は昨年3月に保有していた1540と2036をすべて現物の金貨・銀貨に換えております

【金ETF VS 金現物】

